



「北陸が好きだから 財専になろう」

北陸財務局 財務専門官採用案内

HOKURIKU LOCAL FINANCE BUREAU





北陸が好きで、
北陸地域に貢献したいなら
「財専」になろう。



皆さんの夢が実現できる場所、
目標を達成できる環境は、ここ「北陸財務局」です。
皆さんと一緒に働ける日を心よりお待ちしております。

©石川県観光連盟／©(公社)とやま観光推進機構／©(公社)福井県観光連盟





Contents

北陸財務局の概要

財務専門官、財務局	3
財務局の使命	4

北陸財務局の主な業務内容	5
--------------	---

北陸財務局職員の声

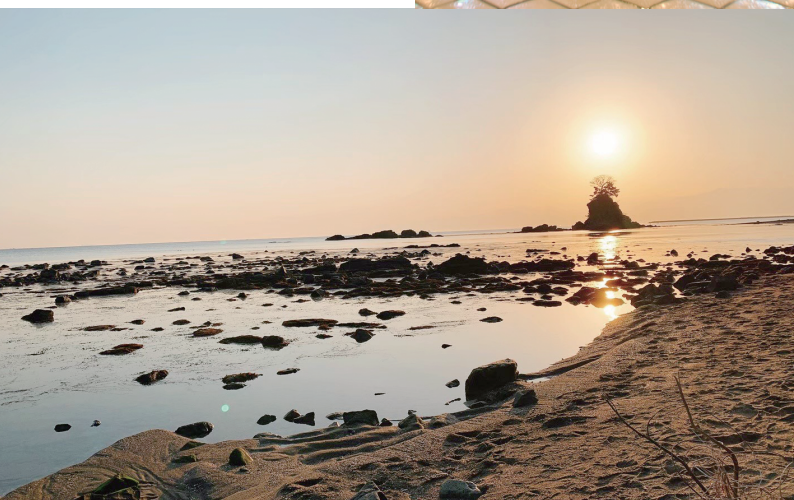
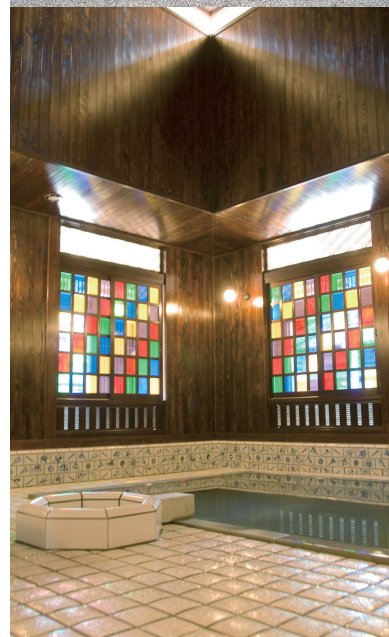
入局1年目職員インタビュー	7
若手職員のグループトーク	11
若手職員からのメッセージ	13
先輩職員からのメッセージ	17
出向者からのメッセージ	19

職場環境、ワークライフバランス	21
-----------------	----

キャリアパス、研修制度	23
-------------	----

北陸財務局Q & A	25
------------	----

財務専門官になるためには	26
--------------	----



財務専門官 とは

財務専門官は、財務局 において働く、財政、金融のプロフェッショナル です。

財務局 とは

財務局は、財務省の総合出先機関 です。

財務局は、全国に10か所 の財務局・財務支局、
県庁所在都市を中心に40か所の財務事務所、
13か所の出張所のネットワークで構成されて
います。

北陸財務局 は、金沢を本局として、富山、
福井の財務事務所で構成されています。



北陸財務局の 魅力

- ✓ 幅広い業務の中から、「自分に合う仕事」が見つかる
- ✓ 地域社会と身近な仕事をととして、地域貢献
- ✓ 働きやすい職場環境で、仕事とプライベートが充実
- ✓ 充実したサポート体制で財政・金融のスペシャリストに

仕事満足度の
高い職場

北陸財務局の 組織

★証券取引等監視官	★総務部門	★理財部	★管財部
統括証券検査官	総務課 会計課 合同庁舎管理室 経済調査課 財務広報相談室	主計課 特別主計実地監査官 理財課 融資課 検査総括課 統括金融証券検査官 金融監督第一課 金融監督第二課 金融監督第三課	管財総括第一課 審理室 管財総括第二課 統括国有財産管理官 統括国有財産監査官 首席国有財産鑑定官
財務局監察官			

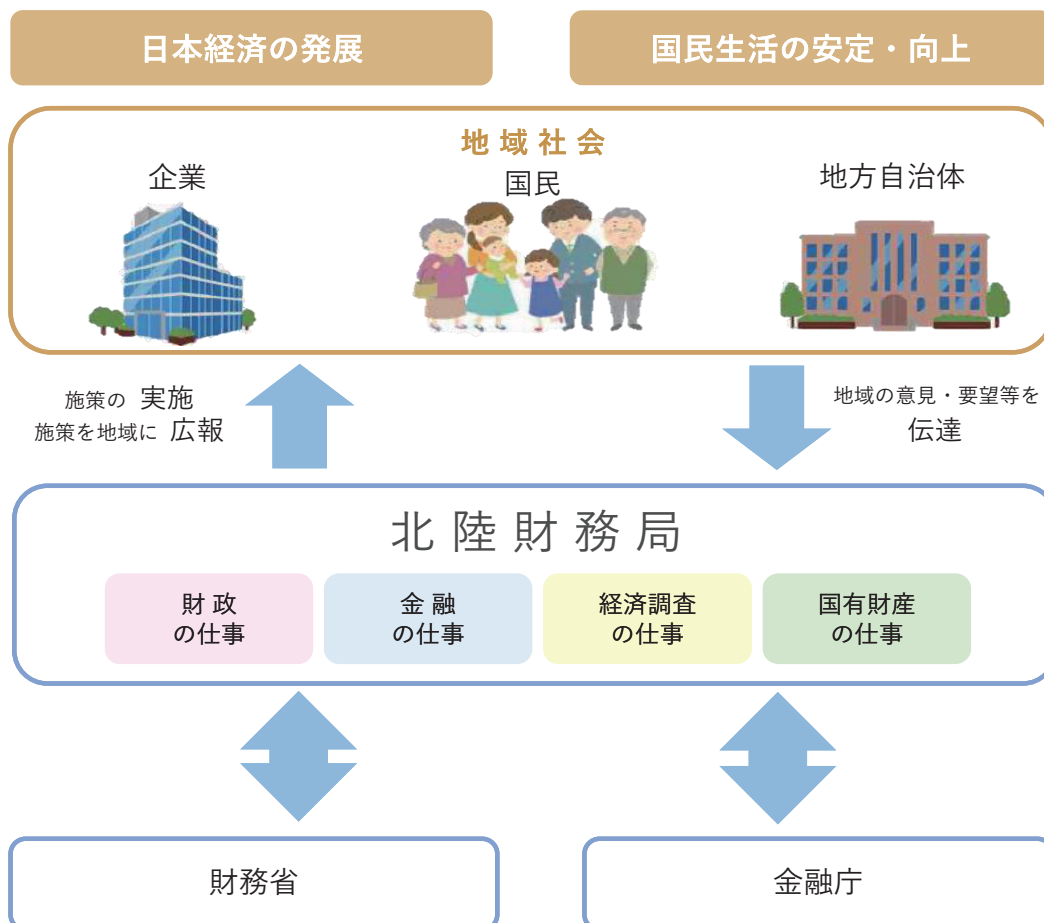
★財務事務所

総務課
財務課
理財課
管財課

★財務総合
政策研究所
北陸研修支所

財務局の 使命 とは

財務局は、地域社会と財務省・金融庁との 架け橋 として、地域社会に貢献 します。



財務局は、財務省 の総合出先機関として、また 金融庁 から事務委任を受け、財政、国有財産や金融等に関する施策を実施します。

さらに、財務省及び金融庁の施策を地域に広報するとともに、地域の意見・要望や地域経済の実態を財務省及び金融庁に的確かつ迅速に伝達し、効果的な施策の形成に寄与します。

また、地域の特性を踏まえた施策の実施を通じて、地域貢献 に努めます。

以上により、金融機能の安定や通貨の信認を確保し国民の資産を守るなど、国民生活の安定・向上 と 我が国経済の発展 に貢献します。



財務局のシンボルマーク

二つの球体は、地域と国を表現しており、財務局を中心とした円は、効果的な施策を表現しています。地域と国を表現している二つの球体を財務局を中心とした円で繋ぐことによって、国の施策を地域に広報するとともに、地域の意見・要望や地域経済の実態を国に的確かつ迅速に伝達することによって、効果的な施策の形成に寄与するという財務局の使命をイメージしています。

財政

「財政」は、政府の経済活動であり、財務局は、①災害復旧事業、②財政投融资等を通じて、地域住民の生活を支えているほか、国の予算の使われ方やその効果などについて実態を把握する③予算執行調査を行っています。



災害発生後、主務省とともに現地に出向き、国が負担する復旧事業費を決定し、早期復旧のため予算措置に繋げています。



学校、病院、上下水道等を建設する場合に、必要に応じて、地方公共団体に資金を貸し付け、資金面をサポートしています。

金融

「金融」は、経済活動に不可欠なものであり、財務局は、**金融機関の検査・監督**や**中小企業金融の円滑化に向けた取組**を通じて、地域の企業・経済の持続的成長を下支えしています。

金融機関の検査・監督：地方銀行や信用金庫、信用組合のほか、証券会社や保険会社等、様々な金融機関に対して、継続的なモニタリングや立入検査を通じて、金融機関の財務の健全性やリスク管理の状況をチェックし、必要に応じて業務改善命令等の権限を行使しています。



毎年、「金融行政方針」に関して、金融庁幹部と地域金融機関の経営者との意見交換会を開催しています。

経済調査

「経済調査」は、財務省の経済財政政策の企画・立案のために重要なものであり、財務局は**地域経済情勢等の調査**を行っています。調査結果は、**地域の意見・要望とともに財務省へ伝達**しています。



各種経済指標や企業へのヒアリング結果を収集・分析して、課内や財務事務所と十分に検討しています。



地域経済の動向をタイムリーに把握し、記者発表を行っています。

国有財産

「国有財産」は、国民共有の貴重な財産であり、財務局は、国有財産の売却などを通じ、**国の財政に貢献**するとともに、**地域と連携した取組**（※1）や、経済対策等における**国有財産の活用**（※2）により、地域・社会のニーズに応えています。

（※1）県の災害対応施設として、国庁舎の余剰スペースを活用など。

（※2）デジタル社会の基盤となる5Gの基地局整備場所として、宿舎を提供など。



日本三名園の一つである兼六園も国有財産であり、現在、石川県に無償貸付を行っています。

広報

財務省及び金融庁の重要施策等の広報を行うほか、各種団体の会合・学校・研修会等へ講師を派遣しています。

また、ホームページやSNSによる情報発信も行っています。



大学等に出向き、日本の財政の現状等について説明（講義等）を行っています。



子育て支援センター等に出向き、マネー講座を開催しています。

若手職員による 地方創生 に向けた取組

北陸財務局は、北陸三県に拠点を構えているという特徴を生かし、各地域において構築している様々なネットワークを活用して、地域の各主体を結びつける「つなぎ役」を果たしながら、地域の課題解決に向けた地域連携・地域貢献に取り組んでいます。この取組は、若手職員の有志が所属課の枠を超えて行っているものです。その一例を紹介します。

1 広域連携による施策立案等の支援

ZEN(禅)に所縁のある北陸各県の3市町(輪島市・上市町・永平寺町)の関係深化をサポートし、「ZENを縁とした観光等での連携」、「北陸新幹線延伸も見据えたより広域での地域活性化」などの地方創生に資する施策立案等に向けて協働・共創しています。

これまで、意見交換会や地方創生イノベーション発想塾(AIを搭載した発想支援サービスを活用し、新たなアイデア創出)を開催したほか、情報収集やナレッジ共有を目的としたオンラインセミナーを随時実施しています。今後、具体的な連携施策立案等を進めていきます！

2 中能登町に対する古民家活用事業サポート



▲中能登町の古民家にて

中能登町との意見交換の中で、町に所在する国指定文化財である古民家の活用に向けた支援(知恵出し等)要望を受け、関係先との橋渡しや取組支援を実施しています。

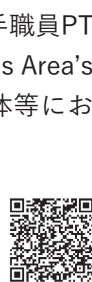
これまで、古民家を活用した地域価値向上の方法を検討することを目的に、中能登町・日本政策投資銀行と連携して地域活性化座談会を開催し、地域住民によるワークショップ等を実施しました。

引き続き、地方公共団体等の取組支援、地域とのネットワーク構築・拡大等に積極的に取り組んでいきます！

3 SNS活用による効果的な情報発信

北陸の創生支援や地域の架け橋となることを目指し、若手職員PT(Project Team)専用Facebookアカウント「Hokuriku Sōsei's Area's BRIDGEs(北陸財務PT)」を活用し、北陸地域の地方公共団体等における地方創生の取組等の情報を発信しています。

今後も、北陸地域内の面白い取組や、若手職員ならではの企画等を投稿予定です！



▲是非フォロー・いいね、お願いします！



4 地方公共団体のDX推進支援



▲池田町との意見交換(オンライン)

地方公共団体のDX推進をサポートするため、取組状況等について、福井県や池田町と意見交換を実施しました。

財務局においても、意見交換で得られた情報を基に無償RPAツールを導入し、業務改善や職員全体のデジタルリテラシー向上を目指して、本ツール活用に向けた勉強会に発展しています。

今後も地方公共団体と連携しながら、課題解決のサポートを模索していく予定です。

職員紹介

Q1. 財務専門官の 志望動機

Q2. 業務内容

Q3. 職場の印象 ・雰囲気



総務課
福井 逸平
Fukui Ippei

国と地域の架け橋として働ける点、多様な業務の中から自分の適性に合った分野の専門性を高められる点に惹かれて、財務専門官を志望しました。また、説明会等でお話した職員に爽やかな方が多く、「ここで働きたい!」と強く思うようになりました。

会議の準備、防災関連業務、財務局単位での各種とりまとめ等、幅広く、様々な業務を行っています。電話がよく鳴る総務課では、代表電話の取次ぎも大切な業務の1つです。総務課の業務は、他部署との関わりが多く、他の部・課と連携しながら仕事を進めています。

穏やかで優しい人が非常に多い職場だと思いました。皆さん真面目に業務をこなしていますが、上司はもちろん、他部署の方でも、困ったことがあると親身になって対応してくれます。執務室は、静かな時もあるれば、賑やかな時もありますが、とても居心地よく感じています。



経済調査課
北島 立樹
Kitajima Ritsuki

最初は「財務専門官」という名前の響きに惹かれ、調べ始めました。調べていくうちに、財政・金融・国有財産・経済調査など、地域経済に関連した業務や、他組織の方々と連携する業務に魅力を感じ、志望しました。

経済調査課では、各種指標や企業へのヒアリングなどをもとに北陸3県の経済動向を分析し、資料を作成、公表しています。ヒアリングは実際に企業へ伺うこともあれば、電話やwebで実施することもあります。

皆さん優しい方ばかりで、わからないことがあれば何でも教えていただけます。公表資料作成に向けた課内検討会は、自由に意見を言い合える雰囲気です。休憩時間中には、地元トークなどで盛り上がることもあります。



融資課
岡田 裕貴
Okada Yūki

財政・金融・国有財産管理など多様でかつ専門的な業務に従事することができる点に魅力を感じました。また、財務局では地域の様々な主体と密接に関わり、仕事をしているため、地域に貢献しているという実感をもって働けるのではないかと思います、志望しました。

主に地方公共団体に財政融資資金の貸付・管理及び回収を行っています。また、貸付先に対して実地監査も行っています。実地監査では、公営企業の経営状況を把握し、債務償還の確実性や財政融資資金の使用状況などについて確認を行っています。

上司の方々がよく話しかけてくださるため、とても居心地が良いと感じています。わからないことがあれば、親身に対応してくださり、安心して働くことができます。また、休暇やテレワーク、フレックスを取得しやすい環境が整っているため、プライベートの時間に充てることができます。



検査総括課
美濃 華七
Mino Hana

財政・金融など、地域に密着した業務を専門的に行うことができる「スペシャリスト」であることに憧れを抱き、志望しました。また、本省庁への出向などにより、幅広い業務を経験することができる点にも惹かれました。

金融機関への検査をサポートする業務をしています。具体的には、検査の事前準備、計画を練るための資料作成や、検査結果をとりまとめる等、デスクワークがほとんどです。また、北財PTというプロジェクトチームに参加し始めたことで、地域との関わりも増え、経験できる業務の幅もこれからもっと広がっていくのではないかとワクワクしています。

本当にアットホームな雰囲気です。私が仕事で困っていたら、質問する前に教えてくださるような、そんな温かい職場です。わからないことを質問して、嫌な顔をされたことがありません。これは、一年目の自分が働く上で、一番ありがたいことだと感じています。



Q4. 入る前の不安 →実際入ってみて

朝起きられるかが不安でした。最初は起きるのが辛かったですが、今では目覚ましがなくとも起きられそうなくらいに慣れました。(今でも目覚ましは三重ですが)

財務局の業務は、財政・金融・経済など、難しそうな分野ばかりで、自分にできるのか不安でした。入局してからは、上司や先輩方がよく気にかけてくださり、安心して業務に取り組むことができます。原案作成は担当が行いますが、その後課内での検討をしっかりと行うので、自分一人で背負い込むこともありません。

朝起きられるかととても不安でした。入局後は早く起きる習慣が身につく、今のところ寝坊することなく出勤できています。

何もかもが不安でした。業務についての知識不足はもちろん、そもそも自分は社会人として週に5日も働けるのだろうかと不安しなかったのですが、入局してすぐに様々な研修があったり、頼りになる先輩方のおかげで、少しずつ成長しています。週5で働くことについては、気合です！

Q5. プライベート面 での変化

生活にメリハリが出て、趣味や遊びの時間を大切にできるようになりました。想像もしていませんでしたが、北陸財務局に入り、生まれて初めて野球部員になりました。財務局野球部の先輩方には、練習から仕事まで、本当によくしていただいています。

早寝早起きをするようになりました。朝早く起きて、自宅近くの河原まで散歩に行くこともあります。また、金沢に住むのは初めてなので、休日はバスや自転車で探検しています。感染症が落ち着いている時期には、友人と遊びに行ったりリフレッシュしています。

学生時代は家にいることが好きでしたが、業務で様々な地方公共団体と関わる中で関心を持ち、休日に遊びに行くことも増えました。

宿舎で初めての一人暮らしをしています。掃除、洗濯などで、今までの母のありがたみをひしひしと感じながらも、自分の料理のレパートリーが増えてきて、とても楽しいです。また、年に何度か長期休暇もいただけるので、せっかくだからと旅行を計画することも増え、学生の時よりも旅行することが出来ている気がします。

Q6. 基礎研修の 感想など

学びが多く満足度の高い研修でした。コロナ禍で制限はありましたが、全国の同期と交流できた時間は、刺激が多く、非常に充実したものでした。特に、各財務局の代表で行われる都道府県PRのプレゼン大会では、発表のレベルの高さに驚かされました。

基礎研修では、業務上最低限必要な知識を学びます。感染症の影響で一定の制限はありましたが、全国の同期たちと顔を合わせた研修は非常に貴重な経験でした。研修で学んだ知識やビジネスマナーは現在の業務にも役立っています。

基礎研修では、全国の様々な財務局の同期と親睦を深めることができ、とても楽しかったです。研修では、様々な分野の講義を受講し、ビジネスマナー研修など社会人として必要なことについても勉強することができました。休日には、他局の研修生と野球観戦や焼き肉を食べに行ったことが印象に残っています。

一番印象的だったのは、中央研修で全国の同期と会えたことです。様々な出身の人たちが集まり、共同生活をしながら一緒に学ぶことは、とても新鮮であり、貴重な経験でした。自分が行ったことのない県の友達ができたことで、たくさんの面白い発見もありました。

Q7. 合格を目指す 受験生へ

これほど多くの職場を見れる機会はそうそう無いと思うので、ラッキーだと思って、色々な職場を見てみることをお勧めします。公務員試験は長期戦ですが、気持ちを切らさず頑張ってください！

公務員試験は民間企業に比べ時期が遅く、就職活動を終えた友人を見て焦ることもあるかもしれませんが、気にせず自分のペースでいきましょう。とはいえ、気になってしまうこともあると思います。そのような時は、早く就職活動を終えた友人にアドバイスをもらったり、たまには遊んで、焦りや不安を減らすようにしましょう。

ずっと部屋にこもって勉強していると気分が沈んでしまうこともあると思うので、たまには友人と遊びに行くなどして気分をリフレッシュすることが大切だと思います。また、完璧を求めすぎず、ある程度割り切って考えることも大切だと思います。

就職活動は、将来のことや自分自身について、深く考えるための良い機会だと思います。考えて悩んだ時間や、試験のために諦めずに努力した時間が長ければ長いほど、合格した時の達成感が大きいのはもちろん、就職後の職場に対する納得感も大きくなると思います。試験勉強中は孤独を感じることもあるかと思いますが、家族や友人にも相談しながら、心と体を大切に頑張ってください。



職員紹介

Q1. 財務専門官の 志望動機

Q2. 業務内容

Q3. 職場の印象 ・ 雰囲気



統括金融証券検査官
原田 泰成
Harada Taisei

大学で金融論を専攻し、関連する業務に取り組みたいと考えていました。公務員試験について調べた際に財務専門官の存在を知り、調べれば調べるほど面白そうな仕事だと思い志望しました。もちろん名前のカッコよさにも惹かれました。

金融機関の検査業務を主に行っています。検査では、コンプライアンス・ガバナンス・有価証券など複数の観点から検査を実施しています。マネロン・テロ資金供与対策をターゲットとした検査なども行います。出張が多く、庁舎にいる時間は少なめです。

検査業務には専門的な知識が必要不可欠であり、尚且つ厳密な正確性が問われることから、職員間での意見交換が活発です。その影響か、課内に質問しやすい雰囲気が醸成されており、新人の私としてはありがたい限りです。



金融監督第二課
森下 日菜
Morishita Hina

財政や金融の面から専門的に地域に貢献できる点に魅力を感じたからです。大学生のときに財務局の寄附講義を受けて、業務内容がもしろそうだったことがきっかけでした。また、勤務地が北陸3県+東京で、地元で働く選択肢と財務省や金融庁に出向して働く選択肢があることにも惹かれ、志望しました。

金融機関を監督する業務をしています。金融機関から提出された報告書やアンケートなどを集計して金融庁に報告したり、届出の内容を確認して審査したりしています。

本当に優しい方が多いです。部署にとらわれず、様々な方が声をかけてくださいます。また、私が作業している金融監督部屋は、静かなときもあれば業務の相談や雑談でにぎやかなときもあり、集中しやすくもあり話しやすくもあるので働きやすいと感じています。



管財総括第一課
石塚 舞子
Ishizuka Maiko

国の立場から地域経済の基盤の安定化に貢献したいと考え、志望しました。また、幅広い分野での経験を積んだうえで、専門性を高めていくことができる点は、就職活動時に自分の専門としたい分野を絞り切れていなかった自分にとっては、魅力的だと感じました。

国有財産行政の総括事務に係る仕事をしています。主に、国有財産の増加及び減少について、記録・計算・整理・報告する仕事を担当しています。また、エリアマネジメント業務では、地域の国有財産の最適利用に向けた地方公共団体へのヒアリング等を行っています。

面接試験や入局前の説明会で職員の方々とお話した際に、優しく、温かい対応をしてくださる方ばかりだと感じていましたが、入局してからその印象は変わらないままです。周囲の方々がどんな些細なことにしても質問に答えてくださるので、安心して働くことができ、ここで働くことができてよかったなと毎日感じています。



統括国有財産管理官
川口 颯太
Kawaguchi Souta

財政・金融・国有財産といった、地域の社会や経済に直接貢献できる業務を経験することができる点に惹かれ、志望しました。幅広い業務を行っているので、自身の成長につながると考えました。

普通財産の管理処分に係る業務を担当しています。主に、委託業者に対する、未利用国有地の管理指図や、期間入札での国有地の売却を行っています。また、エリアマネジメント業務では、地域との連携強化を目指して、地方公共団体にヒアリングなどを行っています。

皆さん細かいことでも優しく教えてくださり、非常に働きやすい職場だと感じています。私の所属する部署では複数の課で連携して業務を行うので、コミュニケーションがとりやすく、風通しが良い環境だと思います。



Q4. 入る前の不安 →実際入ってみて

入る前も今も不安なことはありません。もしあっても、なんでも相談・情報共有できる場があるためすぐに解決できるのではないかと思います。

入局前は仕事がこなせるか、上司とうまくコミュニケーションをとることができるかといったことがとても不安でしたが、実際に働いてみると、上司がとても気にかけてくださり、わからないことがあっても親身になって教えてくださるので、なんとか仕事をしています。

早起きできるのか、パソコン操作はうまくできるのか、業務を理解することはできるのか等不安は尽きませんでした。ですが、早起きに体も慣れ、周囲の方々があらゆることに関して丁寧に教えてくださることもあり、そのような不安はすぐなくなりました。

業務内容が専門的なので、ついていけるか不安でした。実際に専門的な業務も多く経験しましたが、上司が細部まで丁寧に教えてくださるので、無理なく業務を覚えていけます。

Q5. プライベート面 での変化

早寝早起きの習慣がつけました。休日でも遅くても7時には起きて活動を開始するため、充実した一日を過ごすことができています。また宿舎が自然の豊かな公園の近くにあり、よく友人とそこでスポーツをしてカロリー消費に努めています。

ゆっくり過ごすようになりました。学生の頃は隙あらばアルバイトをいれていましたが、財務局で働き始めてからは土日祝が休日となったので、休日は友人と遊びに行くだけではなく読書や料理をするなど、自分の時間が増えたように感じます。

平日の早起きのおかげか、休日でも「動かなきゃ!」と思い、ダラダラすることが減りました。また、学生時代の友人と会うことが何倍も楽しみになり、もっと友人を大切にしようと思うようになりました。友人と会う予定があれば、それだけで仕事を頑張ることができます。

良い意味であまり変化はありません。残業や休日出勤等が少なく、年休も取得しやすいため、学生時代と同じように趣味や旅行などに時間を使うことができます。休日起きる時間も学生時代のままです。

Q6. 基礎研修の 感想など

社会人に必要なビジネスマナーや規則正しい生活リズムを身に着けることができました。多くの研修生にとっては、大学生気分を抜け出し国家公務員としての振る舞いを意識する良いきっかけになったのではないかと思います。

財務局の業務内容だけでなく、名刺の交換方法やクレーム対応などのビジネスマナーについても学びました。また、東京での研修だったので、東京にしかない、行きたかったカフェなどにも行けて、プライベート面でも充実していました。

東京での基礎研修では、他の財務局の同期と交流することができました。コロナ禍ということで制限もありましたが、集団生活を一緒に送る中で多くの同期の顔と名前を覚えることができました。もちろん、勉強面では財務局の幅広い仕事に関してたくさんの情報を得ることができ、とても有意義な研修でした。

北陸局だけでなく、他局の同期とも親交を深めることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。楽しい毎日を過ごせた、とてもいい思い出が残っています。

Q7. 合格を目指す 受験生へ

採用枠が少なく、なかなか第一志望にしにくい財務専門官ですが、人生一度きりの新卒就活です。他の省庁、地方公共団体等を併願するのは当然として、第一志望としてぶつかってみませんか。その価値がある職場です。北陸財務局で待っています。

公務員とはいってもたくさんの種類があるので、積極的に説明会やインターンシップに参加してみることをおすすめしたいです。興味がなかった職種でも「あれ、意外とおもしろそうかも…!？」と思うかもしれません。

筆記試験の勉強と面接試験の対策は、慣れるまでかなり時間がかかった印象があります。焦らずに、心身の健康を第一にして取り組むのがよいと思います!勉強に身が入らないときもあると思いますが、それは受験生全員が経験することだと思いますので、勉強していない自分を責めずに、ゆっくりと休んでみてください!皆さんにとってより良い結果となることを祈っています!

試験は長丁場で苦しいと思いますが、頑張れば大体なんとかなります。勉強ばかりで疲れた時は、息抜きがてら色々な説明会・座談会に参加してみると、思いがけない発見があって後々役に立つこともあると思います。



若手職員の皆さんに北陸財務局の魅力について語っていただきました！



(あだ名) ①マイブーム ②好きな食べ物 ③自分のチャームポイント

職場の自慢、アピールポイント

本田：やっぱり優しい人が多いと思う。上司からは仕事で失敗しても大丈夫だと言われるし、話をしやすい雰囲気があると思います。

岡田：そうですね。上司からは業務時間中でもよく雑談で話しかけてもらえます。部屋の雰囲気も、常に緊張しっぱなしという感じじゃないので、すごく居心地がいいです。

酒井：あと働きやすさの面では、フレックスタイム制はみんな使っていて働く時間に融通が利くし、年休も上司が率先して取っているので休みやすいです。既に今度の祝日に合わせて年休の予定を入れていて、土日含めて4連休にするつもりです。

一同：いいなー！

上司・先輩職員との関係性について

美濃：仕事が始まってから、もうすでに数えきれないほど細かいミスをしていて、それでも怒らずに指導していただいたり、一緒に手伝ってくださったり……。もう他の職場だったらクビになってもおかしくないと思う(笑)

一同：どんな失敗！？(笑)

本田：でも確かに、面倒見がいい方が多い。残業中なども気にかけてくださって、「無理しなくていいよ」といつも言われるので、本当にありがたい。

酒井：昨年、重要な会議資料について、私の担当分野で説明ペーパーを作ることになり、何からどうやって始めていいかわからずにいるところ、先輩が一瞬で作業の方針を決めて具体的な作業を指示してくださり、経験値が違うなと思いました。



業務外の若手職員間の交流について

本田：令和3年採用と令和4年採用は住んでいる宿舎も近くの人が多いので、週末には釣りに行ったり、同期で旅行に行ったりして、とても仲がいいですよ。

酒井：今度はみんなでカニ食べに行きたいねと言っていて、こういうのを若手の誰かが具体的に企画してくれたりするので楽しいです！

岡田：職場の野球部でも、先輩方と仲良くさせていただいて、全然所属と違う課の先輩方と関わりが持てるのはありがたいです。朝早くから野球をやるのはツライ日もありますが……(笑)

働く前の印象、実際に働いてみての感想

本田：私は就職で初めて北陸に住むことになり、最初は不安な気持ちもありましたが、先輩方も同期もいい人が多く、毎日とても充実した日々を過ごしています。残業をすることもあります、理不尽なお願いをされたりすることはないので、ひどく疲れたということもあまりないです。

岡田：働く前から人事担当の方々と面接していて優しい人が多い印象でしたが、実際に働いてみてもやっぱり優しい人が多かったです。

美濃：私も同感で、社会人として働くことって嫌なことばかりあるのかなというイメージもありましたが、今毎日がとっても楽しいです！



職場での失敗談

本田：課長と一緒にいった出張で名刺を忘れてしまったことがありました。当然注意されましたが、課内では1つの話のネタとして笑いに変わってもらいました。

岡田：仕事の電話でこちらの意図がうまく説明できず、電話口の相手方を怒らせてしまったことがありますが、上司の方がそのあとフォローの電話をかけてくださり、本当に助かりました。

美濃：さっきも少し話しましたが、打ち合わせで使う会議室の予約し忘れ、文章のミスの修正漏れなど挙げたらキリがないです。上司から一つ一つ落ちていて作業するよう言われて、いつも心掛けています。

学生時代にやっておけばよかったと思うこと(受験生に向けて)

本田：仕事で文章を書く機会や、人に説明する機会が多いなと感じていて、学生のうちに場数を踏んでおけばよかったなと思います。他人に説明して納得してもらうというのは本当に難しい……。

酒井：逆にやっていてよかったと思うことは、人と関わるアルバイトですかね。お客さんとのコミュニケーションや電話対応の基礎が身につきましたし、バイトなら許される失敗というものもあると思うので、そういうことが経験できてよかった。

美濃：あれやってみたいな、楽しそうだなと思う事に対してフットワークを軽くしてやってみることかなと思います。社会人になってから何か新しいことを始めたい、身に付けたいと思っても、中々時間がなかったりするのです。

岡田：そうだね。何か趣味とか、テンションが上がるものを持っていると、オンオフの切り替えがうまくできて、平日も仕事をより一層頑張れる気がします！

言い残したことはないですか？

美濃：えっ、もう終わり？

酒井：意外と時間経ってた。まだ全然エピソード話せませんけど。

本田：それは失敗談？

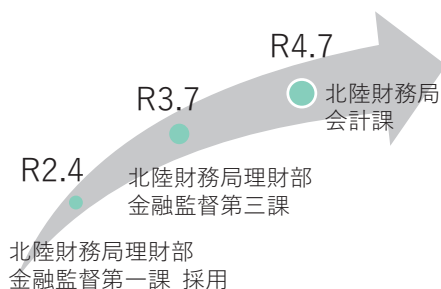
酒井：まあ、それもある(笑)

岡田：じゃあ今日仕事終わったらご飯行きませんか？

本田：いいね！

美濃：行きましょう！やった～！





西口 遥

Nishiguchi Haruka



Q. 当局の魅力

職員一人一人が大切にされている職場であることです。

仕事については、個人で行うというよりは、チームで協力して行っています。その中で、自身の経験に応じた量の業務を任されており、仕事を負担に感じて悩むことはありません。ミスをしてしまっても同じ課のみなさんが優しくフォローしてくれますし、同じ課以外の職員からも、困っているときには声をかけてくれるので、温かく、働きやすい職場だなと感じています。加えて、財務局では若手職員を中心に、地域連携を推進する活動を行っており、若手職員にも活躍できる場があります。

また、ワークライフバランスの面では、有給休暇はもちろん、フレックスタイム制なども設けられており、課内で調整しながら、各種制度を取得しやすい雰囲気にあります。

このように、一人一人が色々な面からサポートされているので、安心して働ける職場です。



▲休日に仲のいい若手職員でハーブ摘みに

Q. 入局前後の印象

入局前後で印象が変わったことは、残業に関する点です。入局前は残業が多いことを覚悟していたのですが、実際には必要があれば残業する程度であり、通常は定時で退庁しています。

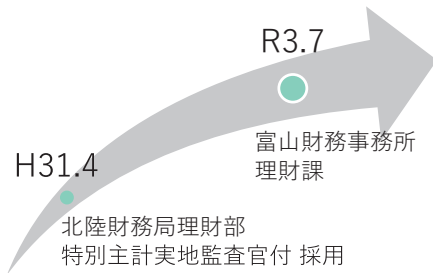
他に印象が大きく変わったことはなく、大学時に参加した業務説明会のときに思ったとおりで、優しくて明るい職員が多く、お話ししていて楽しい方ばかりです。

また、想像通りデスクワークが多いです(配属課にもよりますが)。入局前は、「営業とか外に出る仕事の方が気楽でいいな～」という安直な考えで外出の多い仕事に憧れることもあったのですが、実際に仕事してみると、仕事終わりに体力的な余裕があるので、平日帰宅してから趣味なども楽しむことができます。

Q. 受験生へのメッセージ

私の就活時は、筆記試験のことで頭がいっぱいで、実際に働くイメージを全くもっておらず、「受かればどこでもいい!」とったりもしましたが、いくつかの業務説明会に参加して、職員や職場の雰囲気を見たことで、最終的には「絶対北陸財務局がいい!」とまで思うようになりました。説明会では、お話しできる職員に限られ、職場全体の雰囲気を掴むことは難しいかもしれませんが、「いいな」という直感も大事だと思います。

試験勉強で手一杯だとは思いますが、是非説明会に参加して雰囲気を感じてみてください。



山 和希

Yama Kazuki



Q. 仕事のやりがい

本局・特別主計実地監査官では、予算執行調査(国の事業が適切に実行されているかどうかを全国規模で調査し、予算に無駄がないかを調べるもの)を行っています。この調査では、財務局職員が財務省の担当部署に対して、調査対象とする国の事業を提案することができます。そのため、提案が採択されれば、全国規模で自身の関心のある事業の調査を行うことができ、大きなやりがいがあります。

富山財務事務所・理財課では、富山県内の金融機関(銀行、信用金庫、信用組合、金融商品取引業者等)の監督を行っています。金融のプロの方々と議論を重ねる日々は、非常に新鮮で充実感を得ることができるとともに、自身の成長に繋がっていると実感しています。



▲打ち合わせの様子



▲趣味のマンドリン

Q. 当局の魅力

当局の魅力として真っ先に思い浮かぶものとしては、ワークライフバランスが重視されていることです。

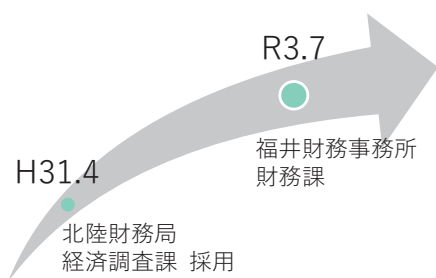
休暇はとても取りやすい環境で、私は基本的に月1日以上休暇を取得しております(ちなみに当局では年間16日以上以上の休暇の取得が推奨されております)。また、テレワーク環境も整っているほか、フレックスタイム制も多く職員が活用しております。

仕事だけではなく、きちんとプライベートの時間も取りたいという方にはおすすめの職場だと思います！

Q. 受験生へのメッセージ

就職活動中、様々な官公庁や会社の業務説明会が開催されると思いますが、できる限り積極的に参加してみてください。パンフレットからは手に入れることのできない情報を得ることができますし、「この官公庁(会社)、こんな仕事をしているんだな…」という気づきが後々になって役立つこともあります。初めのうちは、できる限り就職先の選択肢を絞らず、広い視野を持つということも大切なことだと思います。

そして、是非ご関心があれば、北陸財務局の説明会にもお越しいただき、財務局の業務や魅力などをさらに詳しく知っていただけると嬉しいです！



堀 達哉

Hori Tatsuya



Q.入局前後の印象

公務員を志望したころは、正直なところ財務局のことをほとんど知りませんでした。

業務説明会に参加してみて、財政や金融の幅広いフィールドで、かつ専門性の高い仕事をしていると聞いて、難しい仕事をしている職場だと思いました。一方で、説明を聞いているうちに、職員が仕事に対して使命感や充実感を持っている職場だと感じました。

実際に働いてみて、職員が長所を活かして連携しながら仕事をする中で、「より良く」を目指している職場だと感じており、これが説明会で感じた使命感や充実感に繋がっているのだと感じています。



▲アフター5も趣味の筋トレで充実

現在、福井財務事務所で、地方公共団体への財政融資資金の貸付に関する仕事をしています。国の資金を活用して、地域の課題解決やインフラ整備などを支援することができ、ダイレクトに地域貢献ができることにやりがいを感じています。

Q. 仕事のやりがい

国と地域という2つの視点を持って仕事ができることにやりがいを感じています。

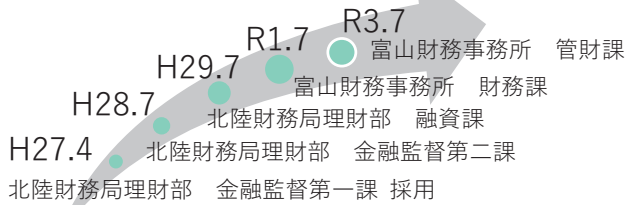
経済調査課では、北陸地域の現状や先行きについて調査・分析する仕事をしていました。新型コロナウイルス感染症の影響など、経済を取り巻く環境が変動したときに、地域に密着している財務局として、北陸経済の現場の声を財務省に届けたことや、調査結果がテレビや新聞で報道されることをやりがいを感じていました。

Q. 当局の魅力

一言でいうと、「コンパクト」であることが当局の魅力だと思います。もちろん異動範囲が北陸三県であることも魅力の1つかもしれませんが、それ以上に、フットワークが良く、職員同士の顔が見える、ということを大きな魅力として感じています。

北陸財務局は、他の財務局と比べて規模は小さいですが、他の財務局と同様に幅広い業務を行っているため、多様な業務を経験できます。また、分からないことや不安なことは経験豊富な先輩に気兼ねなく聞くことができます。このほか、RPAの導入など、業務効率化にも積極的に取り組んでいます。

このような環境にいるため、日々の業務の中に成長や研鑽の機会がたくさんあり、多くのことを吸収できる日々を過ごしています。



湊屋 あずさ

Minatoya Azusa



Q. 仕事のやりがい

私は現在、富山財務事務所管財課で国有地の管理処分に関する業務に携わっています。具体的には、土地の境界確定や売払申請への対応を行ったり、実際に現地に行って国有地の状況を調査したりしています。管財業務では地域の方々から土地に関する相談を受ける機会も多くありますが、様々な案件に対応していくことで専門分野への理解がより深まり、自分自身の成長に繋がっていると感じています。

また、国有地の管理処分を行うにあたって、どのような方針で進めるべきなのか悩むこともあります。上司と検討を行いながら対応策を決定し、無事に案件を完了することができたときには大きな達成感があります。



▲打ち合わせの様子

Q. 勤務地について

北陸財務局は、本局が石川県、財務事務所が富山県と福井県にあり、基本的に北陸三県が勤務地となります。転勤の周期は決まっているわけではありませんが、私の場合は採用されてから5年目に本局から富山財務事務所へ配属となりました。

就職先を選ぶにあたって転勤があることをネックに感じる方もいるかもしれません。私も転勤があることに最初は不安を感じていました。でも実際に転勤を経験してみると、住んでみることで今まで知らなかった地域の良さを発見できたり、その土地ならではの体験を楽しんだりすることができるので良かったと感じています。また、地域のことを深く知るという経験は地域に関わる財務局の仕事を行ううえでも役に立っているなど実感しています。

Q. 当局の魅力

公務員を目指す方の中には、「地域に貢献する仕事」がしてみたいという思いはあるけれど、具体的にどんな分野の仕事がしたいのか決まっていない方もいるのではないのでしょうか。財務局の仕事は財政、金融、経済調査、国有財産といった多岐にわたる業務を行っており、若手のうちにいろんな部署を経験することで、自分の適性にあった分野を実際に働きながら探していくことができます。

また、「働きやすさ」も北陸財務局の魅力だと思います。他局に比べると規模は小さいですが、その分職員同士の距離が近くて相談しやすい環境です。分野ごとに仕事内容は大きく変わりますが、どの部署でも困ったことがあれば優しく丁寧に教えてくださる方ばかりなので、今まで経験していない分野の仕事でも安心して取り組むことができます。



PROFILE

平成19年度 採用

入口 恵

Iriguchi Megumi

管財部
国有財産管理官

財務専門官を目指す皆様へ

北陸財務局で働くことの魅力は、財政、国有財産や金融等、様々な角度から北陸の地域経済に関わることができることです。

私もこれまで、地域経済の動向を調査する経済調査業務を経験したほか、広報担当として財政・金融施策についての広報活動を行うなどの業務に携わってきました。現在は、国有財産に関わる業務を担当し、学校、公園、社会福祉施設などの公的な施設の用地として、地方公共団体などに売却や貸付を行う業務に携わっています。

財務局では、そのほかにも、金融機関の検査・監督に関わる業務や、国の財政に関わる業務などがあるほか、財務省や金融庁での業務を希望することもできます。

このように、財務局の業務内容は多岐にわたりますが、不安に思うことはありません。研修の機会が充実していることや、職員同士がチームとして課題解決に取り組む風土が醸成されているので、安心して新たな業務に臨むことができます。それぞれの業務において異なる知識が求められますが、その都度新しい発見があり、過去の経験が次の業務にも生かされていくので、日々自分自身の成長を実感することができると思います。

また、組織としてワークライフバランスを推進し、働きやすい環境が整っていることも大きな魅力です。出産や育児、介護など、ライフイベントにより生活スタイルは変化しますが、一人ひとりが力を発揮して働くことができます。

私も、育児休業からの復帰後は、育児時間制度を利用し、二人の子どもを育てながら働いています。仕事が予定どおりにいかず大変な部分もありますが、子どもと過ごす時間はかけがえのないものであり、充実した日々を過ごしています。財務省の組織理念として、「国の信用を守り、希望ある社会を次世代に引き継ぐ。」という使命があるのですが、自分の子どもを含む次の世代に貢献する仕事に携われていることに誇りを感じながら、日々の仕事に取り組んでいます。



▲課内打合せの様子

地域や自分の大切な人たちのために貢献できる仕事がしたい、北陸財務局はそんな想いを実現できる職場だと思います。

皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



PROFILE

平成18年度 採用

藤井 啓太

Fujii Keita

経済調査課
調査官

財務専門官を目指す皆様へ

北陸財務局の魅力は、何ととっても①業務を通じて日々、新しい発見(驚き)があること②若手職員ならではの発想(皆さんの強み)を生かして、新しいことに挑戦する機会が用意されていることだと思います。

①について、例えば私が所属する経済調査課では、企業へのヒアリングや地域経済に関するデータを使って、企業の生産活動などについて調査・分析しています。

様々な企業の方と、企業活動の深い部分までお話しする機会があるため、今まで知らなかった世界に触れることができ、日々、新しい発見の連続です。

このように北陸財務局では、外部の方と直接関わりを持ちながら業務を進めることが多く、様々な知識を得られる機会に恵まれています。

もちろん、外部の方と最初から対等にお話しすることは難しいため、先輩職員から積極的に学ぶなど、継続的な自己研鑽が必要不可欠です。その点、北陸財務局では、OJTや通信研修などのサポート体制が充実しているので安心です。

②について、北陸財務局には、「北財PT」という地域課題の解決や地方創生支援に取り組む若手職員によるプロジェクトチームが存在します。自分たちで取組を自由に企画し、必要に応じて様々な外部機関と協力して実行する、その全てのプロセスを自分たちの手で行っています。従って、このプロジェクトチーム内で希望すれば様々なことに挑戦できます。

これまで、北財PT専用Facebookを立ち上げて市町村が行う取組をプロモーションしたり、「ZEN(禅)」をテーマに北陸三県の3市町で連携を進めるなど、様々な活動を行っています。

もちろん、既存のプロジェクト以外であなた自身がやってみたいことがあれば、新たなプロジェクトを立ち上げて地域の活性化に取り組むことができます。その場合、必要に応じて先輩職員がしっかりとサポートしてくれます。

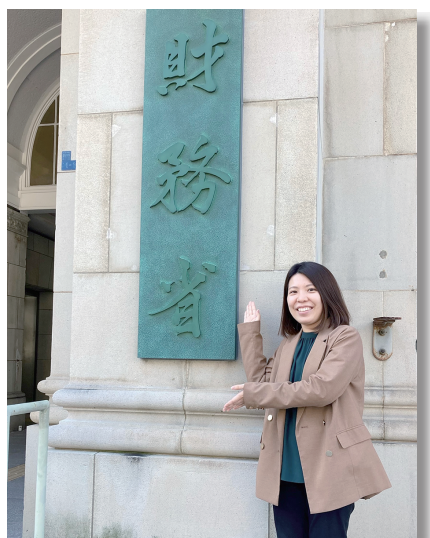
是非、あなたも北陸財務局での業務を通じて様々な分野の新しい知識を得たり、これまでの経験や強みを生かして様々なことにチャレンジしてみませんか。

今後、あなたが魅力的な社会人になれるかは、あなた自身の姿勢次第だと思いますが、北陸財務局にはそれを実現できるステージが用意されています。

お会いできるのを楽しみにお待ちしております。



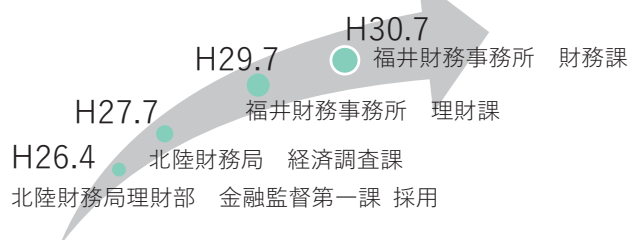
▲地域の方々と意見交換



山崎 美里

Yamazaki Misato

～ 採用から出向まで ～



財務省出向者より

私は、北陸財務局で採用後、金融監督、経済調査、財政投融资等の業務を経験し、財務省理財局に出向しました。

出向してから、最初の2年間はたばこ塩事業室でたばこの小売販売業に関する業務を経験し、小売店や農家、メーカー等の業界団体や関係省庁と連携しながら、たばこ事業の様々な課題の解決に向けて検討を行いました。健康意識の高まりや技術の発展等、たばこを取り巻く環境が日々変化中、どのようにたばこを販売していくべきかという答えのないことを検討することは難しくもありましたが、本省庁ならではの業務であり、充実感がありました。

また、たばこの小売販売に関する各種許可や届出の処理といった業務は財務局で行われているため、財務局の担当者とWEB会議を行いながら、一緒に解決策を検討するということもありましたが、私は財務局でたばこ業務を経験していましたが、本省での業務を通じて、地域目線と国全体を捉える目線の両方を持つことが重要だと改めて感じました。



▲執務室での様子

財務省に出向し3年目となる現在は、財政投融资部門で財政投融资分科会の運営業務を担当しています。業務内容が昨年までとは大きく変わり、新鮮な気持ちで毎日勉強しているところですが、分科会委員の先生方の鋭い議論を間近で触れられるという貴重な経験ができ、良い刺激になっていると感じています。

財務省はスピード感が求められる業務が多い上、役職問わず自分でより深く学び、考えることが求められ、時には上司から鋭い指摘を受けることもあります。そのため、なかなか思うようにいかず大変なこともあります。自分で検討した内容について上司の理解が得られ、後押しをもらいながら案件を進められたときは達成感がありますし、自分の糧になっていると実感しています。

また、「本省＝怖い」というイメージを持つ人もいるかもしれませんが(少なくとも私はそう思っていました)、実際には財務局・本省ともに穏やかで頼りになる人が多く、困ったことや悩みを相談しやすい環境にあります。



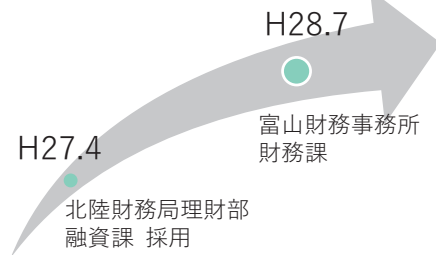
▲係での打合せ

私は就職活動の際、地域に根差した仕事と国全体に関わる大きな仕事の両方をやってみたいという漠然とした思いから財務局への就職を決めました。実際に両方の業務を経験できて非常に充実していますし、私のような欲張りな人には良い環境だと感じています。

最後になりますが、このパンフレットを見てくださった皆さんと一緒に仕事ができる日が来ることを楽しみにしています。



～ 採用から出向まで ～



見砂 将之

Misago Masayuki

金融庁出向者より

私は平成27年に北陸財務局に入局し、財務局及び財務事務所において財政融資、経済調査といった業務を経験した後、平成30年7月から財務省へ出向し、令和3年7月からは金融庁へ出向しています。

ここでは、私が財務省・金融庁等に出向してから経験した業務を簡単にご紹介します。

財務省では地方課という部署に3年間所属し、財務専門官試験の運営業務(採用パンフレットの作成や試験運営等)や職員のワークライフバランスの推進等、人事関連の業務に携わったほか、全国の財務局で新たに発生する業務に対応するための部署の創設、各部署の配置人数の検討等の業務に携わりました。これらの業務を通じて、「財務局」という職場について、より深く知ることができたと思っています。

また、財務省在籍中に、たまたま「外務省に行ってみないか」と上司に声を掛けられ、2018年に大阪で開催された「G20 サミットの準備事務局」へ出向し、外国人報道担当者の対応業務(会議開催までの準備(案内作成等)、当日の受付や誘導)にも携わりました。会議の場では、英語での現場力が求められ、大変ではありましたが自身の英語力を磨くことができ、かけがえのない経験ができました。

その後、金融庁へ異動し、1年目は協同組織金融室というところで、全国の信用金庫・信用組合の決算状況の分析業務に携わりました。分析業務では、約400先の信用金庫・信用組合の決算状況を、Excelを駆使して取りまとめる必要があり、日々の勉強が欠かせませんでしたが、数値のミス無く、分析資料が出来上がった際には、非常にやりがいを感じました。そして現在2年目に入り係長に昇進し、監督調査室というところで、主に金融庁の行政方針や政策評価の策定、国会対応の窓口業務等、まさに中央省庁ならではの政治的かつダイナミックな業務に携わっています。業務自体は、スピード感が求められ、分量も多く大変ですが、『自分が携わった』行政方針等の政策が金融庁HPに公表された時などは、その頑張りが報われた気がして、非常にモチベーションが上がりました。

上記でご紹介させていただいたのは、中央省庁の業務のほんの一部ではありますが、どの業務も、国全体に影響がある業務で、貴重な経験ができたと思っています。財務局は、地域のために働くこともでき、希望次第では中央省庁でも経験を積める等、柔軟かつ幅広い働き方ができる職場であると思っています。



▲国会対応には欠かせません



▲北陸局からの出向者と休憩スペースにて談笑

働きやすい職場環境づくり

北陸財務局では、全職員がライフステージに合わせた働き方を可能とし、かつ能力を最大限に発揮できるよう、組織一体で、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

具体的には、「北陸財務局における女性活躍推進・ワークライフバランス推進のための取組計画」を定め、「ワークライフバランス推進のための働き方改革」、「女性の活躍推進のための改革」を2つの柱として職場環境の整備に取り組んでいます。

ワークライフバランス推進のための働き方改革

- 定時退庁日の設定等による超過勤務の縮減
- 年間16日以上計画的な年次休暇の取得促進
- フレックスタイム制やテレワークの導入等による、働く時間と場所の柔軟化
- 業務改善提案を通して、業務の効率化を推進
- 専用シートを活用して、男性職員の育児に伴う休暇等の取得を促すなど、男性職員の家庭生活への関わり推進
- 育児休業等取得中の職員に対する各種情報提供や復帰する職員に対する両立支援に関する各種制度の説明など、育児等をしながら活躍できる環境整備

女性の活躍推進のための改革

- 「女性職員キャリアアップ研修」等を活用して、女性職員のキャリア形成支援
- メンターを交えた女性職員の懇談会の実施による、女性職員が抱える悩みや心配事の相談ができる体制づくり

主な両立支援制度

国家公務員には、育児休業をはじめ産前・産後休暇、育児短時間勤務等の制度がありますが、北陸財務局では、できる限り多くの職員がこれらの制度を活用できるよう、職員に対して制度を周知するとともに、管理者から制度利用を促すなど、仕事と育児等の両立支援にも積極的に取り組んでいます。

結婚・妊娠したときに・・・

- 結婚したときに利用できる制度
 - 結婚休暇（5日以内）
- 妊娠中の女性職員が利用できる制度
 - 深夜勤務・時間外勤務の制限
 - 健康診査等のための職務専念義務免除等

出産のときに・・・

- 女性職員のための休暇制度
 - 産前休暇（6週間）
 - 産後休暇（8週間）
- 男性職員のための休暇制度
 - 配偶者出産休暇（2日以内）
 - 育児参加のための休暇（5日以内）

育児のために・・・

- 育児に専念するための制度
 - 育児休業（子が3歳に達するまで取得可）
- 勤務時間を短くするための制度
 - 育児短時間勤務、育児時間（子が小学校就学始期に達するまで取得可）

子育て・介護のために・・・

- 勤務時間帯を変更するための制度
 - 早出遅出勤務、休憩時間の短縮
- 子の看護、家族の介護のための休暇制度
 - 子の看護休暇、短期介護休暇（対象者1人につき年5日、最大10日）
 - 介護休暇（6か月以内）
 - 介護時間（1日に2時間まで）

制度利用者の声

PROFILE

平成24年度 採用

前川 莉沙

Maekawa Risa

会計課 厚生係長



Q.仕事と育児の両立について

現在、会計課で職員の福利厚生や共済組合に関する業務をしています。

私には現在、小学校1年生と2歳の2人の娘がいます。

長女のときは1歳1ヶ月、次女のときは11ヶ月のときに職場復帰しました。

現在は、お昼休みの短縮(60分→45分)と、朝30分の育児時間を利用しています。仕事と家事、育児の両立はなかなか大変で、毎日帰宅してから子どもが寝るまでの間は座る暇もないほどバタバタしているので、寝かしつけの時には、疲れて一緒に寝てしまうことがほとんどです。そのため、朝に前日の家事を済ますことが多いのですが、育児時間を取得しているため、朝の支度に加え、家事をする時間の余裕を持つこともでき、助かっています。



Q.職場の雰囲気

北陸財務局では、たくさんの人が両立支援制度を利用しています。

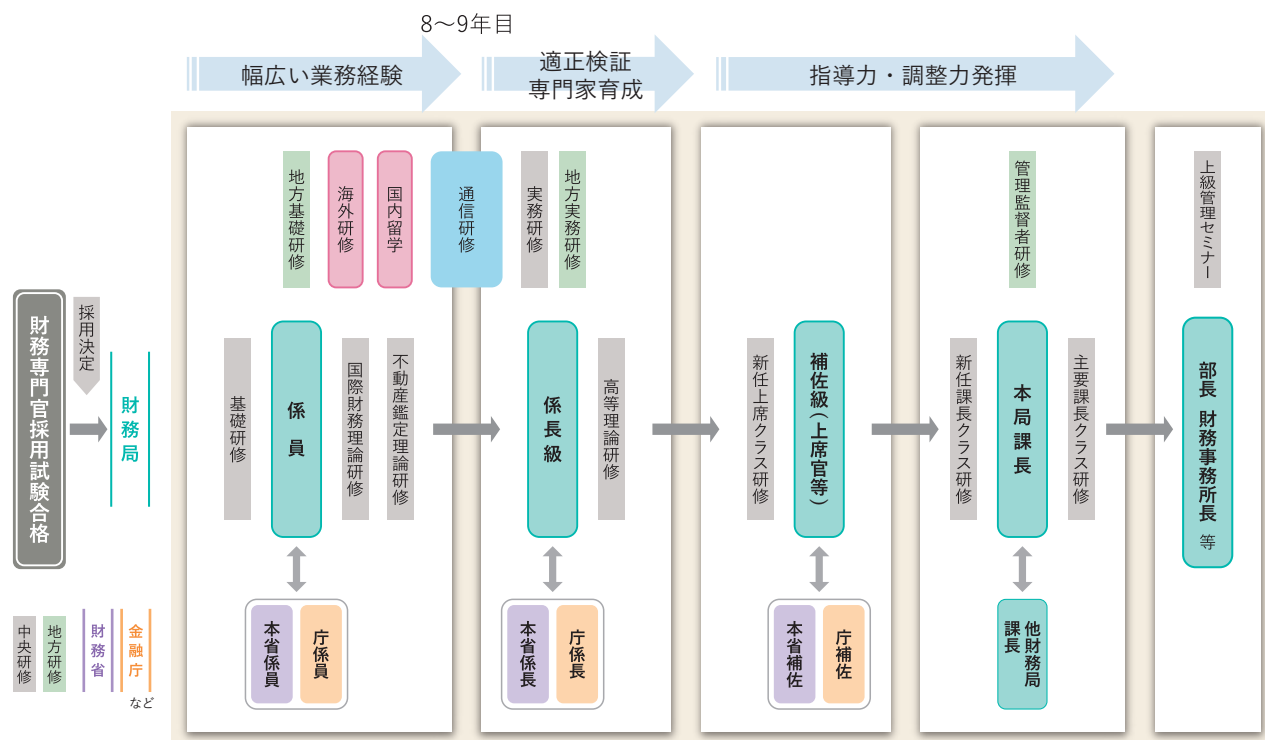
私も、これまで利用してきた先輩方の姿を見て、迷うことなく利用することができましたし、なによりそのような環境が整っていて、周りの方の理解があることがとてもありがたいです。

Q.受験生に向けたメッセージ

働き続けていくうえで、ライフスタイルの変化は必ずあります。それぞれのライフスタイルに合わせた働き方を選択し、安心して働き続けることができる職場は魅力的だと思いませんか？

両立支援制度を利用して、子育て中でも仕事と育児等を両立できる財務局は、ワークライフバランスが浸透した働きやすい職場です！皆さんも一緒に働いてみませんか？

財務専門官のキャリアパス



充実したサポート体制

北陸財務局では、職員のキャリアパスに応じた研修体系の下で、財務に関する専門知識の習得のための研修を行っています。研修は西ヶ原研修合同庁舎内の財務総合政策研究所研修部（東京都北区）で実施する中央研修、各財務局で実施する地方研修、自学学習の通信研修の3つから構成されています。

基礎研修（新規採用職員等向け）

《中央研修》

○基礎研修

西ヶ原研修合同庁舎を会場に、本省・財務局に新規に採用された職員を対象に、採用直後の4月から5月末にかけてオンライン研修、OJT、集合研修を実施します。財務省職員としての基礎知識、ビジネスマナーに関する講義のほか、所管業務に係る専門的かつ実務的な講義を実施しています。

《地方研修》

○地方基礎研修

上記中央研修終了後、各財務局において、地域の実情に応じた基本実務、専門実務を習得するための研修を実施しています。

○配属別転課者研修（経済調査、財務、金融、管財）

新たな業務の系統に異動した職員を対象に、配属先の系統別に、実務に関する基礎知識を習得するための研修を実施しています。

特別理論研修（中堅係員から係長向け）

財務専門官の中核的人材を育成するために、より高度な専門知識・理論や教養等を習得するための研修を実施しています。

《中央研修》

○国際財務理論研修

中堅係員以上を対象に、業務の国際化に対応した国際財務報告基準等の知識を習得させるもので、国内研修と海外研修で構成されています。

○不動産鑑定理論研修

不動産に関する行政法規、不動産鑑定理論に関する高度な知識を習得させるための研修を実施しています。

○高等理論研修

係長クラスを対象にした公募・選抜型研修であり、社会経済環境の変化に対応するため体系的に財務に関する知識・理論を習得するとともに、業務遂行能力の向上や指導力・調整力の涵養を図り、今後の財務局行政の中核となりうる職員を養成します。

実務研修（係長向け）

業務に必要な専門的・実務的知識や理論を習得させるための研修として、約50コース（経済調査事務、主計事務、モニタリング実務、国有財産総合等）を設け、財務局のほとんどの業務をカバーしています。

通信研修

業務に関する知識等の習得のため、「財務会計」「宅地建物取引理論」「金融」「ファイナンシャルプランナー」「ビジネス実務法務」「中小企業診断技能」「英語」等の各コースを用意しています。

多くの発見・学びを得られる職場 ～海外派遣研修に参加して～



PROFILE

平成27年度 採用

谷本 有

Tanimoto Yu

福井財務事務所
財務課 調査官

私は青年海外派遣研修に参加し、約3週間、バルト3国の1つ、ラトビア共和国を訪問しました。この研修は、全国の青年を海外へ派遣し、派遣先でのプログラムを通して国際社会で活躍できる青年を育成することを目的としたもので、大統領への表敬訪問や現地青年とのディスカッション、ホームステイなどを体験しました。

現地では、政府機関を訪問したり、スタートアップ企業のお話を聞いたり、広大な森林をサイクリングしたり、と様々な体験をしたのですが、特に印象深いのは現地の青年たちとの交流です。同年代でありながら、自分とは比較にならない語学力、ディスカッション技術をもつ彼らに圧倒されると同時に、そうした能力の背景には、「ラトビアが小国だからこそ、国境を越えて活躍できる人材にならなければならない」という強い向上心があることを知り、とても刺激を受けました。圧倒的な能力の差に悔しい気持ちになることもありましたが、それも、この研修に参加しなければ得られなかった体験であり、「自分もこうなりたい」というモチベーションが芽生えるとともに、自分のスキルアップについて考える契機となりました。

この研修に参加するにあたっては、職場を長期間、離れることになりましたが、その際には、上司が業務の調整をしてくれ、快く研修に送り出してくれました。

私は、財務局という職場の魅力は大きく2つあると感じており、そのうちの1つが、職員の教育環境が充実していることだと考えています。財務局では、海外派遣研修に限らず、幅広い研修メニューが用意されており、職員の興味関心に合わせて学ぶことができます。私も資格取得に向けて、この研修制度を活用しています。

2つ目は、選択肢の多さです。北陸財務局では、北陸3県のみならず、東京（財務省、金融庁）で働くことも可能で、さらに業務範囲も幅広いことから、「働く場所」「業務内容」の選択肢が豊富だと思います。私が大学生だったころ、自分自身、やりたい仕事や将来のキャリアプラン等がまだまだ定まっておらず、どういう基準で自分の職業を選択するべきなのか、とても迷った記憶があります。結果として、就職後の選択肢が多そうな財務局を選んだのですが、今振り返ってみても、とてもいい選択だったと思っています。私は今、入局して8年目を迎えるのですが、最近やっと自分の適性や、理想とするキャリアプランが見えてきたと感じています。そしてそれは、様々な業務にかかわり、転勤や派遣研修などを経験できたからこそ、見えてきたものだと思います。

財務局、という名前を聞いても、なかなか職場のイメージがわからないと思うのですが（私は、就職活動を始めるまで存在を知りませんでした）、とても良い職場だと思うので、ぜひ、インターネットで検索してみたり、説明会に参加してみたり、存在を知っていただけたら嬉しいです。そして、「働く場」の候補の1つとして考えてみていただけたら、とても嬉しいです。

財務局、という名前を聞いても、なかなか職場のイメージがわからないと思うのですが（私は、就職活動を始めるまで存在を知りませんでした）、とても良い職場だと思うので、ぜひ、インターネットで検索してみたり、説明会に参加してみたり、存在を知っていただけたら嬉しいです。そして、「働く場」の候補の1つとして考えてみていただけたら、とても嬉しいです。



Q 1 勤務地や転勤の状況について教えてください。

- A 1 基本的には、北陸財務局本局又は富山財務事務所、福井財務事務所での勤務になります。また、希望等により財務本省や金融庁などの勤務も経験できます。仕事や勤務地に関する希望を考慮しながら、概ね2～3年の周期で財務局・財務事務所等における様々な業務を経験していきます。
- 北陸三県をベースに、皆さんが活躍するフィールドは、大きく広がっています。

Q 2 職員数を教えてください。また、女性職員は、そのうちどれぐらいですか。

- A 2 北陸財務局全体の常勤職員数は約180名であり、そのうち北陸財務局本局（石川県）は約140名、富山財務事務所、福井財務事務所は約20名ずつとなっています。女性職員は、全職員のうち概ね3割となっています。

Q 3 勤務時間及び休憩について教えてください。

- A 3 北陸財務局の勤務時間は8時30分から17時15分（休憩時間1時間含む）の7時間45分となっています。
- また、フレックスタイム制が導入されており、全体の勤務時間数を変えることなく、勤務時間帯を早め（遅らせ）たり、1日の勤務時間を短く（長く）したりするなど、ワークライフバランスに応じた勤務時間を指定することができます。
- 休日は、土曜、日曜、祝日法による休日、年末年始（12/29～1/3）です。このほかに、年次休暇（年20日。採用の年は15日。）や、夏季、結婚等の特別休暇があります。

Q 4 年次休暇は取得しやすい環境ですか。残業はありますか。

- A 4 北陸財務局では、年間16日以上の子次休暇取得を目標としており、課内ミーティングなどにより、上司・部下間て業務の進捗や休暇の予定等を共有し、早期の相談等が行える雰囲気づくりや年次休暇を取りやすい環境づくりに取り組んでいます。
- また、北陸財務局では、ワークライフバランスを重視しており、効率的に仕事を行うことに努めています。このため、業務が繁忙な場合には残業をすることもありますが、毎週水曜日を定時退庁日とするなど、メリハリをつけて働く仕組みを整えています。

Q 5 給与はどの程度ですか。

- A 5 令和4年4月現在の職員初任給は190,756円です。（行（一）1級25号俸。北陸財務局勤務の場合。地域手当含む。）そのほかにも、扶養手当・通勤手当等の各種手当が規定に基づいて支給されます。

Q 6 財務局が求めている人材を教えてください。

- A 6 財務局では、財政、金融等のプロフェッショナルとして、予算執行調査、地方公共団体への融資、国有財産を有効活用したまちづくりへの参画、地域金融機関の検査・監督といった地域経済に関する分野で地域の活性化に貢献したいと考えている皆さんを広く求めています。

Q 7 採用にあたり、必要な資格はありますか。

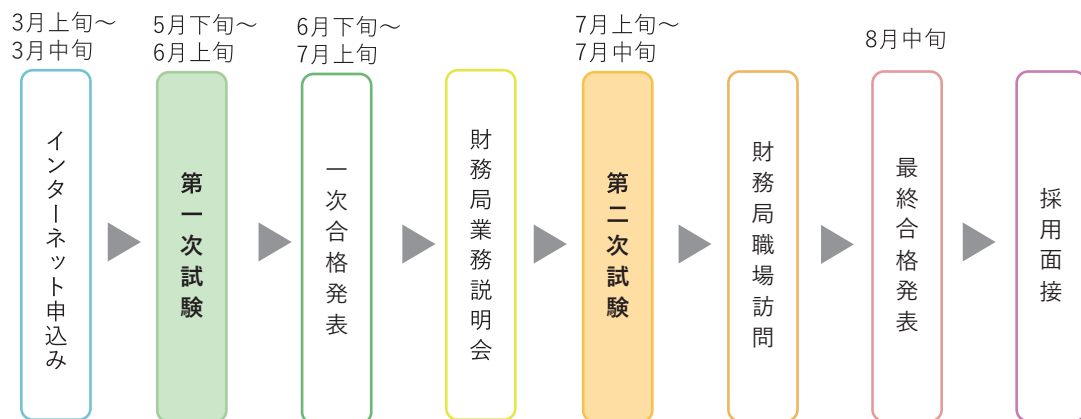
- A 7 財務専門官採用試験に合格する必要がありますが、資格の有無は問いません。なお、簿記、ファイナンシャルプランナーや宅地建物取引士などは、業務において役立つため、職場の通信研修等を活用して取得することが可能です。

Q 8 海外研修の制度（期間、内容、参加条件、派遣される国名等）を教えてください。

- A 8 一例として、「青年海外派遣研修」（内閣府主催）に参加することができます。本研修は、諸外国の青年との交流等を行うことにより、財務局職員としての国際的視野を広げること等を目的としています。具体的には、欧州、アフリカ、北米、中南米、アジア・大洋州のうち1地域2か国を訪問し、ディスカッションやホームステイ等を通じて訪問国の青年との国際交流等を図ります（研修期間：18日間）。なお、参加条件として、一定の語学力等が必要です。

試験日程

財務局職員は、平成24年度（平成25年度採用）より、「財務専門官採用試験」合格者から採用しています。
このため、**財務専門官になるためには、「財務専門官採用試験」に合格する必要があります。**



第一次試験

- 基礎能力試験 多肢選択式 40題
知能分野27題：文章理解①、判断推理⑧、数的推理⑤、資料解釈③
知識分野13題：自然・人文・社会⑬（時事含む）
- 専門試験 多肢選択式 40題
必須問題：2科目28題（憲法・行政法、経済学・財政学・経済事情）
選択問題：次の8科目(各6題)のうち2科目選択
（民法・商法、統計学、政治学・社会学、会計学（簿記含む）、経営学、英語、情報数学、情報工学）
- 専門試験 記述式
次の5科目のうち1科目選択（憲法、民法、経済学、財政学、会計学）

第二次試験

- 人物試験 人柄、対人的能力などについての個別面接（参考として性格検査を実施）

最近の採用実績

平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
2	2	4	0	1	4	3	2	5	3

さいごに

このパンフレットをご覧いただいた皆さん、ありがとうございます。
これから長年続けていこうとする仕事（職場）を決断するには勇気がいると思います。

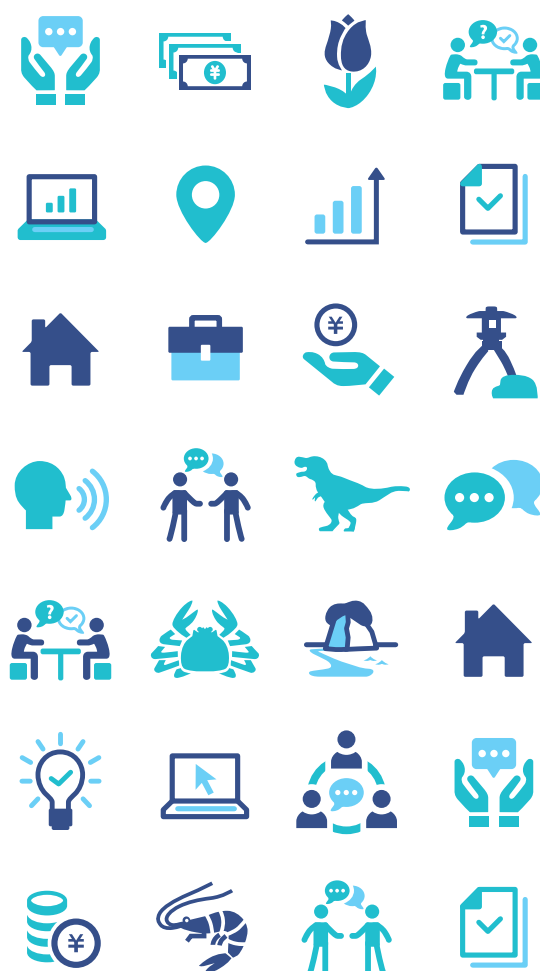
今後、自分はどのように進んでいきたいのかを漠然とでも想像した上で、自分にとって重要なものは何か（仕事内容、勤務地、ワークライフバランス等の職場環境等）を洗い出し、自分なりに優先順位をつけてみることも重要ではないかと思います。

北陸財務局という職場は、皆さんの思いにこたえられる仕事満足度の高い職場だと思います。少しでも興味を持たれた皆さん、ぜひ業務説明会等に、御参加ください。

令和5年2月

北陸財務局 総務課人事係





お問い合わせ

北陸財務局 総務課人事係

Tel.076-292-7861

hokuriku.saiyou@hr.lfb-mof.go.jp

Access

北陸財務局 石川県金沢市新神田4丁目3番10号

富山財務事務所 富山県富山市牛島新町11番7号

福井財務事務所 福井県福井市春山1丁目1番54号